

国際VHF実例資料に音声版

— スマホ対応サイト公開 —

全日本内航船員の会 松見 準

昨年夏に約 3,500 隻の内航船に配布された「内航船向けの VHF 英会話実例資料」の音声版データが、全日本船舶職員協会から公開されました。当会では早急にスマホに対応したサイトを設置し、どなたでも簡単に VHF 英会話の実践的な学習が行える環境を用意しました。

<スマホ de VHF 音声！>

<http://naiko-alljapan.main.jp/mix/naiko-vhf.html>



要望の高かった訛りのある英語音声

実例資料集を制作した委員会では、外国船から発せられる訛りの強い英語が聞き取りにくいという船員からの意見が出され、「耳から聞く教材が欲しい」という要望もありました。今回公開された音声データでは、フィリピン人船員のナマの訛りを収録することに成功しています。

ネットを通じてより広く

「内航船向けの VHF 英会話実例資料」の配布を行ってからの反響は大きく、水産業関係者の他、ヨットなどプレジャーボートの船員からも問い合わせがあり、当会事務局からも多数の発送をしてくれています。今回のネットでの配信で、以前の「実例資料」が届けられていなかった方のもとにも音声資料が届けられ、より広い分野に向けても VHF 交信への関心をサポートしていける事を期待しています。サイトからはテキストの PDF をダウンロードすることもできます。内容は基礎的な VHF の英会話しか掲載されていませんが、共通の言い回し方や英単語が広く活用されることによって生じる新たな安全性にも注目しています。

VHF 交信のリアルを学生にも

海事教育機関で船員を目指す学生たちに海上現場の英語を聞いてもらえる機会が生まれました。座学の段階で訛りのある英語を耳にすることで、実践的な業務意識と学習への意欲に繋がっていきます。卒業後、乗船勤務してから、外国船との VHF 交信で感じることになるヒアリングのギャップを埋めることになります。（了